

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要



健康科学

HUMAN HEALTH SCIENCES GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE KYOTO UNIVERSITY

2016年

第 12 号

● 目 次 ●

1 原 著

- ①男女大学生の家事・育児に対する意識調査 1
高野加奈恵, 我部山キヨ子

2 活動報告

- ②日本におけるオンコロジータッチセラピーの実践 8
小西 奈美, 久木元由紀子

3 投稿規定

投 稿 規 定

1. 投稿資格：著者は原則として京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻教職員（非常勤講師，元教職員，元京都大学医学部保健学科教職員，元京都大学医療技術短期大学部教職員を含む，以下，本専攻教職員），その共同研究者，および本専攻教職員が推薦・紹介する者とする。ただし，京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要編集委員会（以下，編集委員会）が依頼した者については，この限りではない。
2. 投稿論文の内容：健康科学の進歩に寄与するものであり，未発表のものに限る。二重投稿は認めない。
3. 倫理規定：生命倫理の尊重：本誌に投稿する論文は，動物実験，臨床研究のいずれかにおいても生命倫理に十分な配慮がなされたものである必要がある。各分野において必要とされる倫理的審査を受けている場合は，それについて論文内で明記すること。委員会が必要と考えた時には，委員会で調査を行い，その結果，倫理規定を逸脱していると考えたものについては査読の結果にかかわらず不採択とすることがある。
4. 利益相反について，必要な事項がある場合は開示する。
5. 著作権：掲載された論文の著作権は，編集委員会に帰属する。掲載された論文等は，原則として電子化し，インターネット等を通じて公開する。
6. 論文の形式：論文は和文もしくは英文での投稿とする。
7. 論文の種類：総説，原著，活動報告とする。
8. 査読：編集委員会は受け付けた原稿の査読者を決定し，査読を依頼する。総説，原著は，原則として2名の査読者により査読を行う。うち1名は人間健康科学系専攻外の専門家に依頼する。2名の査読者の意見が不一致

の場合は，第3の査読者による査読を行う。活動報告の原稿については掲載を原則とする。但し，編集委員会が適任者として依頼した1名による閲読を行い，編集方針に従って原稿の加筆，削除，および一部の書き直しを指示する場合がある。

9. 採否：投稿論文の採否は，査読結果をもとに編集委員会が決定する。
10. 論文の受付：原稿（図表，資料等を含む）は編集委員会に電子メールでMicrosoft Wordもしくはpdfファイルにて提出する。
11. 校正：著者による校正は再校までとし，校正時における内容の変更や追加は認めない。
12. 別刷：電子ジャーナルのため別刷は個人で依頼し，その経費は著者の負担となる。

原稿作成における留意事項

1. 原稿は原則として，常用漢字，ひらがな，現代かなづかいを用い，A4判用紙に40字×30行程度で12ポイント（和文本文：MS明朝，英文本文：Times New Roman）で作成する。句読点は。 ， を用いる。外国語固有名詞（人名など）は原語を，一般に日本語化された外国語は，カタカナを用いる。科学用語のカタカナ表示は，JIS Z8301に従い，度量衡単位はSI単位とする。
2. 原稿の枚数（本文・文献・図表を含む）：原則として原著の総ページ数は，20枚以内とする。活動報告は10枚とする。ただし，編集委員会が依頼した原稿についてはこの限りではない。
3. 図表は，図1，表1など通し番号をつけ，本文中に，挿入する。図表は，2段組になることを考慮に入れてそのまま製版が可能なものとする。
4. 原稿の表紙の上半分に表題，著者名，所属機関名，8語以内のキーワードを記載し，それ

ぞれに英文を付記する。著者名の姓は、大文字で表記する。下半分にはランニング・タイトル、希望する原稿の種類(「総説」,「原著」,「活動報告」),原稿の枚数,連絡責任者の氏名,住所,電話番号,e-mail アドレスを明記する。表紙,本文等から著者を特定できる情報をすべて削除したファイルも作成する。

5. 著者の所属の表記は、筆頭者は無記号、共著者の所属が異なる場合はその著者名の右肩およびその所属名の冒頭に、*, **, 印をつけ、区別する。

6. 原著の場合は、次頁に、英文抄録(200 word 程度)をダブル・スペースで書く。ネイティブチェックを受け、その証明書を添付する。

7. 論文の項目の区分は、原則として下記の例に従う。

大項目…無記号のゴシックで記し、前を一行あける。原著論文のはじめに、方法、結果、考察などが相当する。

小項目…以下の順で使用する。

1. , 2. ……行の第1字目に記す。
- 1), 2) ……行の第2字目に記す。

8. 謝辞は、本文の末尾に入れる。
9. 文献は、下記の要領に従い、公表された著作物からのものに限定し、その出典を明記し、引用する必要性和照らして必要最小限の引用に留める。

10. 本文中の文献の記載方法は下記の要領に従う。

(1) 文献の本文中の引用は、著者の姓、発行年を括弧表示する(黒田, 2011)。部分的に引用する場合には、著者名、発行年と併せてページ数を明示する(中木, 2010, p.150)。

(2) 2名の著者の共著の場合は、2名両方の著者間に「・」を付して表記する。3~5名の場合、初出の場合は、すべての著者を前述の規則で引用する。著者が6名以上、あるいは初出以降に再引用する場合は、筆頭著者の姓だけを引用して「ら」または“et al.”をつける(福岡ら, 2015)(Woods et al, 2012)。

(3) 同じ著者の複数の文献を同一箇所引用したり、異なる著者による複数の著作を同一箇所引用したりする場合には、同じ括弧の中に筆頭著者の姓のアルファベット順で文献を並べ、セミコロンので文献を区切る。

例) (相田, 2011, 2014; 福岡ら, 2015a, 2015b; Woods et al., 2012; 米山ら, 2005)

11. 文献リストの記載様式は下記の要領に従う。

文献リストは、本文末尾に「文献」として、和文、英文を分けずにすべて筆頭著者の姓のアルファベット順に並べる。共著者は全員の姓名を表記する。doiがある場合は表記する。記載方法は下記の例示に従う。

(1) 雑誌掲載論文の場合

著者名(発行年). 論文の表題. 掲載雑誌名, 巻(号), 最初のページ数-最後のページ数.

例) 緒方 剛 (2015). 微生物の基礎知識 厚生労働省通知 医療機関における院内感染対策について. 感染と消毒, 22(1), 19-23.

例) Wei H, Roscigno CI, Hanson CC, Swanson KM. (2015). Families of children with congenital heart disease: A literature review. Heart Lung. Sep 21. doi:10.1016/j.hrtlng.2015.08.005.

(2) 単行本の場合

著者名(発行年). 書名(版数). 発行地, 出版社名.

例) 近藤克則 (2012). 「医療クライシス」を超えてーイギリスと日本の医療・介護のゆくえ. 東京, 医学書院.

例) Polit, D. F., & Hungler, B. P. (1999). Nursing research: Principles and methods (6th ed.). Philadelphia: J. B. Lippincott.

著者名(発行年). 論文の表題. 編者名, 書名(版数). ページ数, 発行地, 出版社名.

例) 京大太郎 (2004). 現代のリハビリリビテーション学. 聖護院孝編, 臨床理学療法学 (2版), pp. 119-140, 京都, 川原出版.

(3) 翻訳書の場合

原著者名(原書の発行年)/訳者名(翻訳書の発行

年). 翻訳書の書名 (版数). 発行地, 出版社名.

例) Robertson D.(2007) / 高橋昭, 間野忠明監訳
(2000). ロバートソン自律神経学. 東京, エルゼ
ビア・ジャパン.

(4) インターネット上の資料の場合

著者 (可能であれば). 文書タイトル, 日付 (出版
または更新もしくは検索の日付), URL

例) 厚生労働省. 国民の健康の増進の総合的な推
進を図るための基本的な方針の全部改正について,
2015年10月3日アクセス, [http://www.mhlw.
go.jp/bunya/kenkou/dl/kenkounippon21_03.
pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/kenkounippon21_03.pdf)

例) WHO report on the global tobacco epidemic,
2015, Retrieved Oct 3, 2015, from [http://www.
who.int/tobacco/global_report/2015/report/
en/](http://www.who.int/tobacco/global_report/2015/report/en/)

投稿論文チェックリスト

1. 原稿の形態について

- ☐ A4サイズで、和文MS明朝、英文Times new Romanで12ポイントの横書きである。
- ☐ ページ番号を付けている。
- ☐ 第1ページに日本語および英語で表題、著者名、所属機関名、キーワード（8語まで）、著者連絡先、ランニング・タイトル、原稿枚数が記載されている。
- ☐ 原著の場合、第2ページに英文抄録（200語程度）が記載されている。

2. 用語表記等について

- ☐ ワードプロソフトを使用し、記述様式が基準を満たしている。
- ☐ 外国語の用語等は、必要に応じて原語表記で記述している。
- ☐ 数字はアラビア数字を用い、単位表記がSI単位系に準じている。
- ☐ 英文（全文、抄録とも）は、ネイティブチェックを受けている。（証明書の添付）

3. 利益相反について

- ☐ 論文内容に影響を及ぼしうる資金提供、雇用関係、その他個人関係を記述している。

4. 引用文献について

- ☐ 引用した文献は妥当である。
- ☐ 著者名の数、ピリオド、カンマ等の記号の記載様式が規定に準じている。